

スラグせっこう板 技術資料

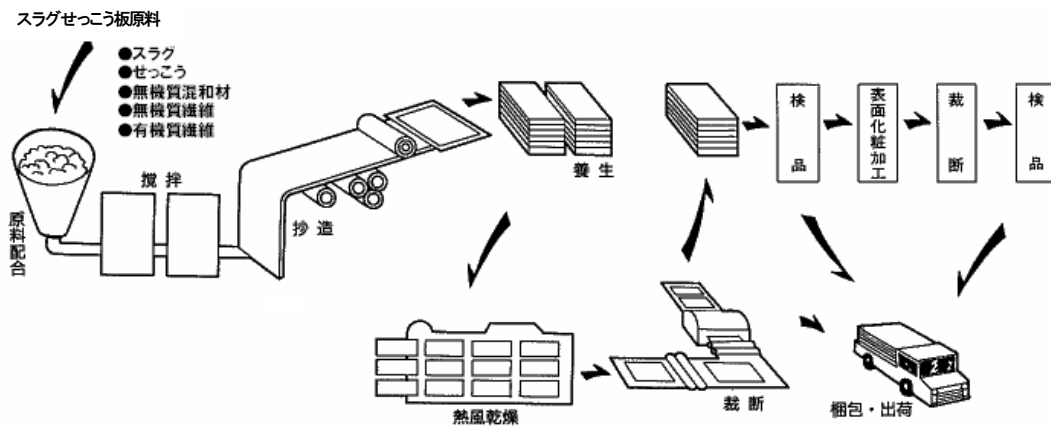
一般社団法人 全国木質セメント板工業会
CFB部会

〒112-0005 東京都文京区水道 2-16-11
電話 03-3945-9047 FAX 03-3944-2094

スラグせっこう板とは・・・

製鉄所の製造工程から副産される高炉水砕スラグと、火力発電所等の排煙脱硫装置から大気汚染および酸性雨の対策として副産されるせっこうを主原料とし、有機・無機の繊維で補強した不燃材料です。

経済的で安全な建築材料として、壁、天井、軒天および間仕切壁等に使用することができます。



■国土交通大臣認定不燃材料

製品名	スラグせっこう板	化粧スラグせっこう板
認定番号	NM-8314	NM-8315
区分	不燃材料	
認定年月日	平成14年5月1日	
主たる用途	壁、天井、軒天等	
形状	平板	
表面形状	平滑、凹凸、有孔	
厚み (mm)	5±0.3、6±0.4、8±0.4、10±0.5、11±0.5、12±0.5、13±0.5、15±1、16±1、18±1	
大きさ (mm)	標準 910×1820 +0、-3	最小 455×910 最大 1210×3030
比重	0.9～1.5	
含水率 (%)	15 以下	
組成 (%)	二水せっこう 30～50、スラグ 30～50、無機質混和材(無機質繊維を含む) 5～20、有機質繊維 5 以下	
化粧層	なし	塗料、合成樹脂シート、化粧単板等

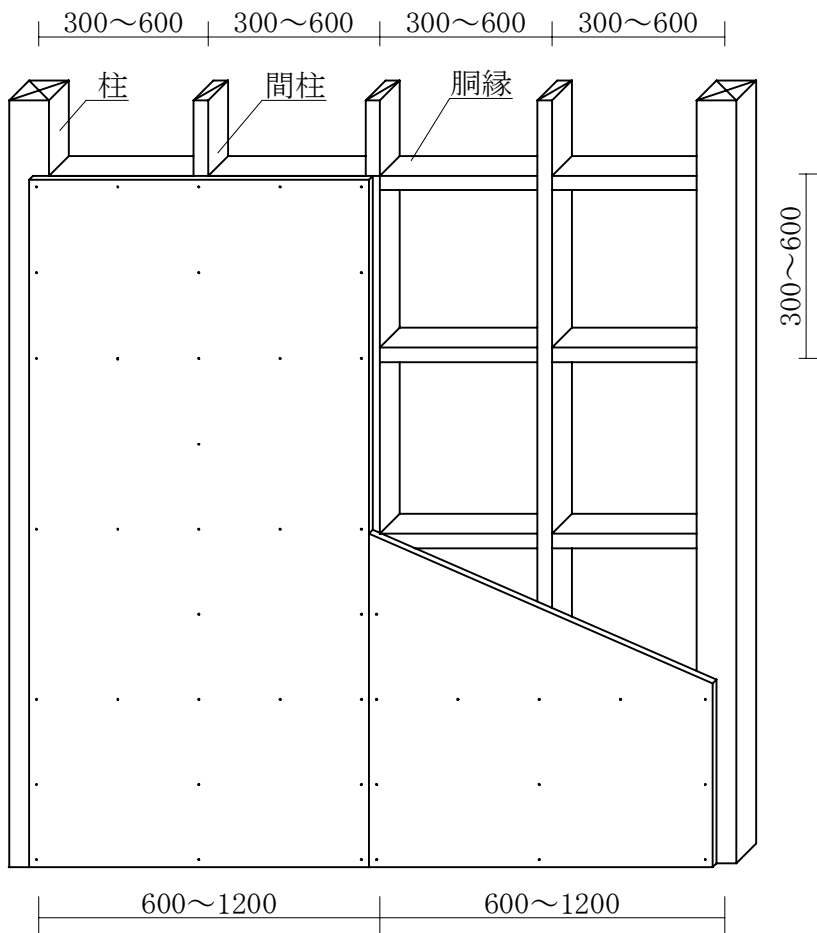
■スラグせっこう板の寸法及び特性

繊維強化セメント板（抜粋） JIS A 5430 : 2013

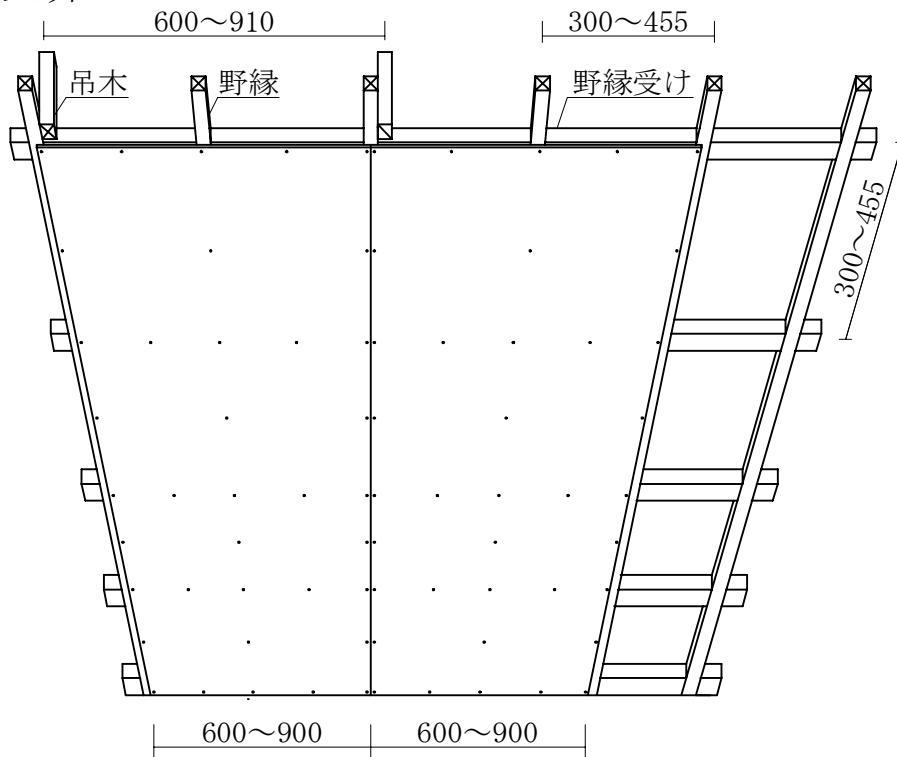
種類	厚さ mm	許容差	受渡試験（必須）		形式試験（必須）	
			かさ密度 g/cm ³	曲げ強さ N/mm ²	難燃性又は発熱性	
0.8 スラグせっこう板	5	±0.3	0.60 以上 0.90 未満	7.5 以上	難燃 1 級 又は 発熱性 1 級	
	6	±0.4		0.90 以上 1.20 未満		7.0 以上
	8	±0.4				6.0 以上
	10	±0.5				10.5 以上
	11	±0.5				9.5 以上
	12	±0.5				8.5 以上
1.0 スラグせっこう板	5	±0.3	1.20 以上			16.5 以上
	6	±0.4		13.5 以上		
	8	±0.4		12.5 以上		
	10	±0.5				
	11	±0.5				
	12	±0.5				
注記 製造方法によって繊維に配向性のある場合、繊維の流れ方向に平行に荷重を加えた場合の曲げ強さは、繊維の流れ方向に直角に荷重を加えた場合の実測値の約 60%程度である。						
長さ及び幅（許容差 ± 0.5） 3030×455、2420×1210、2420×910、2000×1000、1820×910、910×910						

■ 標準施工図 (単位 mm)

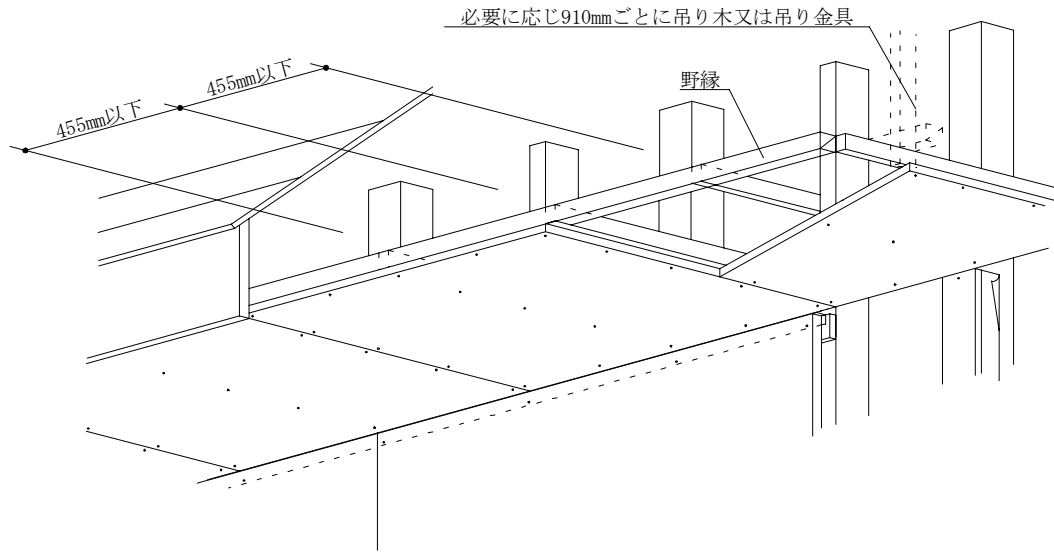
(1) 壁



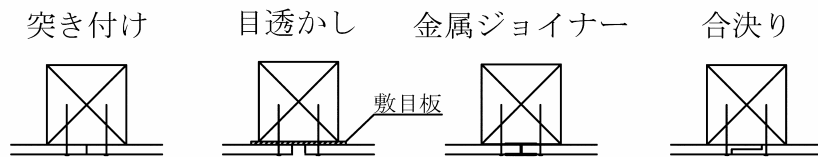
(2) 天井



(3) 軒天



(4) 目地部



■施工ポイント

(1) 施工条件

壁や天井などの室内用ですから、水濡れの恐れのあるところは避けてください。

(2) 下地

下地は最も大切な基礎ですから十分注意を払って行ってください。下地格子は良質な乾燥材を使い、平滑に組んでください。軽量下地の場合でも格子間隔は最大455×455mm 又は455×910mm です。

(3) 張り上げ

天井や壁の中央部から張り始めてください。釘はユニクロームメッキN25(#16×25mm)以上のものを使い板の端より約10mm程内側に100mm 間隔くらいで直打ちしてください。化粧板には同色カラー釘を使い、ハンマーはなるべくプラスチック製のものをご使用ください。

(4) 継ぎ目の処理

継ぎ目の処理方法には、突き付け、目透かし、金属ジョイナー、合決りなどがあります。用途や施工条件に応じて最適な方法を選んでください。

(5) 切断加工

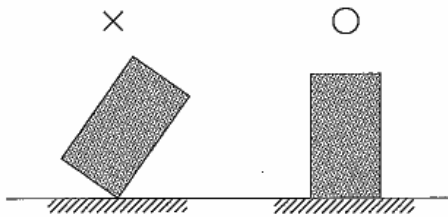
ボードの切断はダイヤモンドチップソーを使用してください。

(6) 塗装

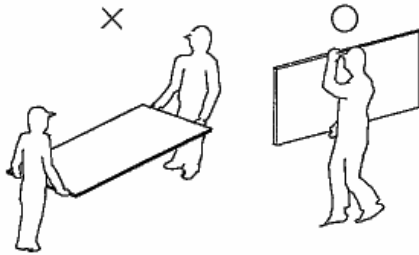
水性、油性いずれのペイントも使用できますが、特に合成樹脂塗料(エマルジョン)が最適です。

■製品取扱上の注意事項

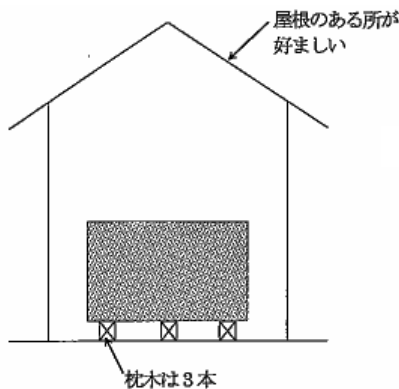
(1) 移動中に角を傷つけないようして下さい。



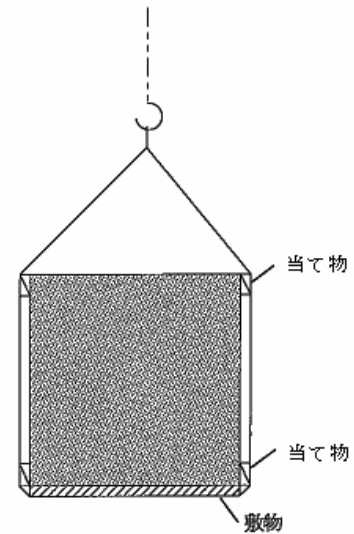
(3) 1枚ずつ運ぶ場合は水平に持つのは避け必ず立てて運んでください。



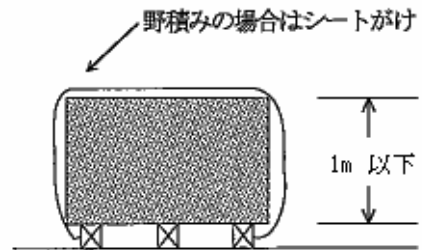
(4) 防水には十分注意し、雨水のかかる場合は必ず防水シートで覆い保護してください。



(2) ワイヤーなどで吊上げる場合は布バンドを使用し、製品と布バンドの間にクッション材等の当てものをして下さい。



(6) 保管は屋内の平らなところにパレット等の敷板を用い水平に置き1m以下に積み重ねる。



(6) 加工および切断については、防塵マスクや保護メガネを着用する。



手袋着用



マスク着用



保護メガネ着用

■会員名簿

会社名	所在地	TEL	FAX
エヌビーエル(株)	大阪府中央区農人橋2-1-30	06-6945-7241	06-6945-7245
新生不燃ボード(株)	福岡県小郡市上岩田769-1	0942-72-4111	0942-72-1888
ニチハ富士テック(株)	静岡県富士市久澤145-1	0545-71-2932	0545-71-3224
日進防火板工業(株)	福岡県筑後市大字溝口1470	0942-53-6145	0942-52-8826